

大阪薫英女短大。松本敏子 橋本康子

目的 衣服の起源は下衣であるといわれている。下衣はどのようにして発達していったか、現存する民族服の下衣の研究によって、これを実証しようとするものである。

方法 1972年より1980年まで現在も尚伝統的民族服を着用している国を訪れ、現地調査を行い、その民族の衣生活の実態を把握し、実物資料の考察、復元を行った。

結果 多数の国の民族服を比較検討することによって、下衣の発生、発達は気候風土の他、主としてその民族の生業によって規定され、伝播は政治、経済、宗教の影響が非常に強いことが判明した。